

と呼びたいと今西先生が話されていた莊川源流の山です。頂上が近くなると、白山・別山・三ノ峰・大日ヶ岳がパノラマのごとく見えます。今回は、「めいほうスキー場」のゲレンデから登り始めて、尾根伝いに行こうと思っています。

地図；白鳥、萩原（1／2. 5）

担当；高木 基揚

4. 7月例会 金剛堂山（1650m）（一等三角点は前金剛の1637.9m）

7月5日（日）

日も長い頃なので、少し遠出をしてみてもはどうでしょうか。7月の例会として、富山県の一等三角点の山、金剛堂山を選びました。

富山県が加賀藩と富山藩に分かれていた時代、両藩の境界に位置したこの山を加賀藩では金剛堂山、富山藩では西白木峰と呼んだそうです。富山藩十代藩主前田利保も難渋の末登頂し、その感動を歌に詠み、翌年山頂にその歌碑を立てました。「飛驒志な乃 きそ乃 みねみねみなみえて 西は乃こさぬ 白木やまかな」（白木山とは金剛堂山）（日本三百名山登山ガイド下参照）

前金剛、中金剛、奥金剛を巡ります。花も眺めもよい山、ぜひ一緒に登りましょう。

地図；白木峰（1／2.5）

(B) バリエーション山行

1. 漆山岳（1393.1m 点名同じ） 5月3日（日）

登山口は、池の原湿原（980m）です。（取り付きは950m）

行程（時間は仮のものです）

道の駅アルプス飛驒古川集合（6：00）～登山口（7：00）～1323.7m三

等点桂谷（8：30）～山頂（11：00～12：00）～登山口（15：30）

この山は、飛驒市旧宮川村と神岡村の境に在り、高原川から西に一気に盛り上がっています。（高差1100m）。

この山に登るのにはソンボ谷林道をたどるか高原川沿いの西漆山から急斜面を登る記録が多いですが、今回は宮川から池の原湿原駐車場まで乗り入れ、北に続く稜線をたどることにします。天気良ければ稜線散歩となるでしょう。池の原湿原は木動が整備され、水芭蕉、リュウキンカなど早春の花がみられます。

集合時間、行程は暫定的なもので、出発時間は上記より早くするかもしれません。

地図；猪谷、東茂住、打保、鹿間（1／2. 5）

担当；神山 敬三

2. 誰も知らない2等点の山シリーズ 箕谷山（1485.9m） 5月24日（日）

高山から平湯方面へ向かう国道158号線の丹生川町の交差点を北へ向かい、道なりに進むと折敷地の丹生川ダムに着きます。ダム湖の北側の林道入口が登山口です。

あまり荒れていない林道を3km程行くと分岐になります。左へ入ると途端に道は悪くなりますが、それを500m程行った所から道を外れ小尾根に取り付きます。道はなく植林帯の中の程ほどの笹藪です。最初は北東方面へ、途中のピークから北へ向かうと頂上です。